

ISEポリシーサービスノード上の応答しないゲストポータルトラブルシューティング

内容

お問い合わせ内容

Cisco Identity Services Engine(ISE)バージョン3.2パッチ7および3.3ベータリリースゲストポータルが、仮想マシン(VM)上の一部のノードとAzure上の一部のノードを含む展開内のポリシーサービスノード(PSN)上で機能を断続的に停止します。この場合、ISEサービスを停止/開始するか、GUIからノードを手動で同期すると、ポータル機能の復元に役立ちます。この問題は、環境内の複数のノードで発生します。

環境

- 製品 : Cisco Identity Services Engine(ISE)
- ソフトウェアバージョン : 3.2パッチ7および3.3_BETA
- 最近の変更 : ノードの別の環境への移行、PANおよびMNTのAzureからハードウェアアプライアンスへの移行(SNS 3795)
- ネットワーク : TCPポート8671を介したノード間通信が必要です。

解決策

1. 各PSNノードに十分なCPUとメモリリソースが割り当てられていることを確認します。特に、サービス障害やパフォーマンスの低下が発生しているノードに対して割り当てが必要があります。リソースの制約が検出された場合は、必要に応じてCPUやメモリの割り当てを増やします。
2. すべてのPSNノードが、ノードの同期に重要なTCPポート8671を介して通信できることを確認します。Telnetを使用して、TCPポート8671のノード間の接続をテストします。接続に成功すると、ポートがオープンで到達可能であることが示されます。接続が失敗した場合は、ファイアウォール設定、ルーティング、およびノード間のネットワークACLを確認します。
3. ISE GUI経由でPSNノードを手動で同期します。
 1. [Administration] > [System] > [Deployment] を選択します。
 2. 影響を受けるPSNを選択し、Syncupをクリックします (ISE PSNノードサービスを再起動します)。
4. 新しいホットスポットポータルを作成します。
 1. Work Center > Guest Access > Portals & Componentsの順に移動します。
 2. Createをクリックし、Hotspot Portalを選択します。

3. 基本設定を行い、簡単なAUPを追加し、ログイン後リダイレクトURLを設定します。
4. 新しいポータルを保存してテストし、機能を検証します。新しいポータルが正常に動作している場合は、元のポータルの設定に問題がある可能性があります。

5. プロファイラのキューまたはリソース関連のアラートがノード上に存在する場合 (CPU使用率の上昇やキューリンクエラーなど)、必要に応じてハードウェアリソースを増やします。たとえば、CPU割り当てを8から16vCPUを増やします。

注：この手順は、仮想化またはクラウド管理インターフェイスを使用して実行されます。

6. 資源調整後は、システムの安定性を監視する。
7. キュー・リンク・エラーまたは同様の警告の監視を続行します。このようなエラーが続いても散発的であり、ISPまたはネットワークの問題 (内部設定やファイアウォールの問題ではない) に関連している場合は、継続的なレビューのために発生箇所を文書化します。エラーが外部ISPの問題に起因している場合は、必要に応じてネットワークサービスプロバイダーと調整します。

原因

ISEゲストポータルが応答しない主な原因は、影響を受けるPSNノードのリソース制約 (CPU/メモリ) と、ノード間通信の問題 (TCPポート8671) です。キューリンクエラーの原因は、内部ネットワークやファイアウォールの設定ミスではなく、外部ISPの問題にあります。ノードの移行とハードウェアリソースの調整により、安定性が向上します。

関連コンテンツ

- [Cisco ISE 3.2インストールレーションガイド](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。